

Inspector 1 使用マニュアル

令和元年五月 Ver. 1.00



1. 利用前の準備

1-1. 内容物の確認

- ① Inspector 1 本体
- ② ケーブルリール
- ③ バッテリー(ケーブルリール、サイドドア内)
- ④ 磁石(ケーブルリールに付属)
- ⑤ 充電器(Inspector 1用)
- ⑥ マニュアル(本誌)
- ⑦ タオルと拭き取り用の布、シリコングリース
- ⑧ iPad mini 5 (希望した場合)
- ⑨ その他のオプション(希望した場合)

ドローンと通信用バッテリーは充電してありますが、念のためチェックをお願いします。

1-2. アプリのダウンロード

App store内で「Seadrone」と検索して
App “SeaDrone Control”をダウンロードしてください。

インストール後、“設定”>“プライバシー”>“写真”内に“SeaDrone”が存在し、“写真のみ追加”と設定、または確認してください(下図、矢印)。動画も記録されます。**iPad内に記録するための必要な操作です。**



2. Inspector 1 の接続

2-1. 送信機の起動



ケーブルリールの側面にバッテリーが格納されています。反対側にはケーブルリール固定ネジがあります。使用時に緩めて下さい。

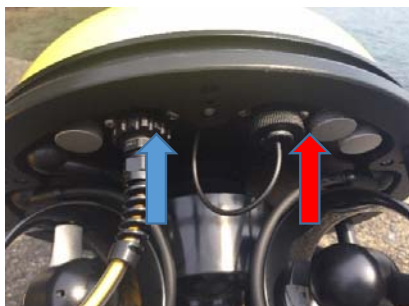


USBのコネクタを接続すると、バッテリーの残量を示す青いランプが点灯します。4つ点灯時がフル充電です。必要に応じて、充電して下さい。

2-2. Inspector 1 とのケーブル接続



ケーブルリールのコネクタを乾いた柔らかい布等で拭き、ネジの部分に薄くシリコングリースを塗って下さい。べったりと塗らないで下さい。



ケーブルリールのコネクタを左側の差込口(青矢印)に奥まで差し、根元のネジをしっかりと締めて下さい。右側(赤矢印)は充電器用の差込口です。締まっていることを確認して下さい。



コネクタ差込口の左側の止め金具(白矢印)にケーブルのカラビナを通し、固定して下さい。



それぞれのネジ、留金がしっかりと閉じていることを確認して下さい。完了すると左図のようになります。

3. Inspector 1 の起動

3-1. Inspector 1とiPadとの接続

- ① iPadの“設定”>“Wi-Fi”を選択、“SeaDrone 2.4 GHz”を選択します。
- ② Password “seadrone”を入力すると接続が確立します。
- ③ iPadは**スリープしない**モードに設定して下さい。

3-2. Inspector 1とiPadとの接続



アプリ“SeaDrone Control”を起動すると、左図の初期画面が表示されます。



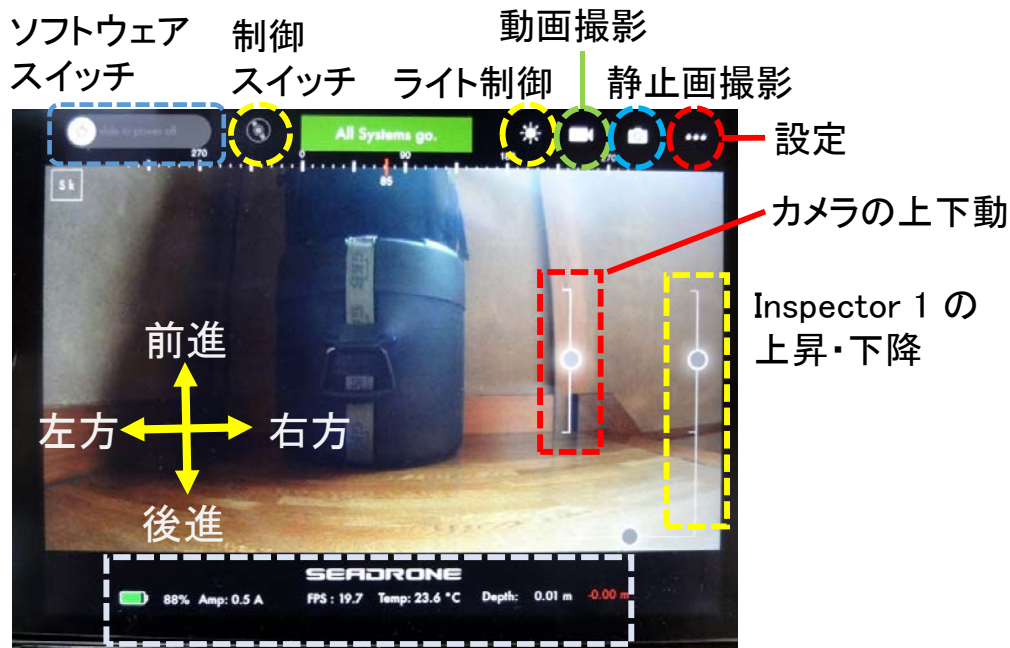
付属のマグネットを充電器用差込口とケーブル差込口の間の上部(左図参照)に当てて下さい。その後、Inspector 1 のライトが点灯することを確認して下さい。



画面がInspector 1 のカメラに接続され、画面の上部が緑色に変わり、“All Systems go”と表記されると、起動完了となります。

4. Inspector 1 の制御

4-1. 画面説明



各種パラメーター、左から
バッテリー残量、フレームレート、水温、深度

4-2. 制御方法



“設定”をタップするとiPad画面の右側に3つのアイコンが現れます。



“Performance”をタップすると最大深度や各出力が設定できます。



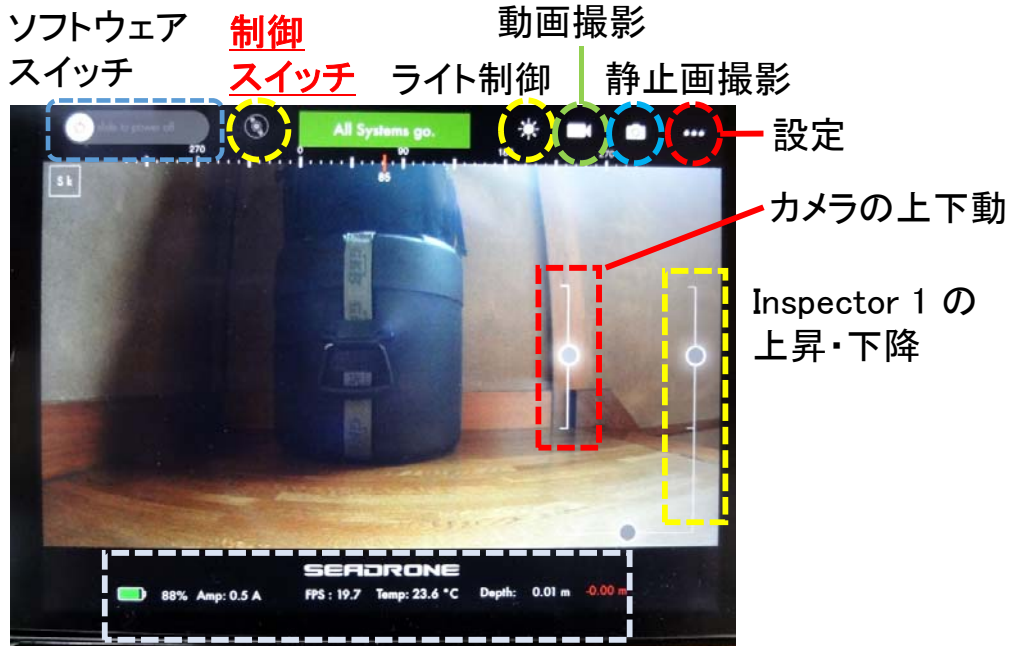
“Setting”をタップすると制御選択モードとなります。ここで、JoystickとStation KeepingをONにしてください。

画面に指を置いた所が起点となり、上方へスライドすると、前進、下方は後進となります。スライドする長さが長いと早くなります。

5. Inspector 1 の使用



ケーブルリールの黒いラインを持って、出来るだけ静かに海に投入して下さい。黄色のラインは決して掴まないでください。海面まで距離がある場合は、タモ網などを利用して下さい。



各種パラメーター、左から
バッテリー残量、フレームレート、水温、深度

制御スイッチをタップすると、アイコンが赤くなり、Inspector 1 の制御が可能となります。途中、制御できないと感じた場合、まず制御スイッチを確認して下さい。

使用中の注意事項

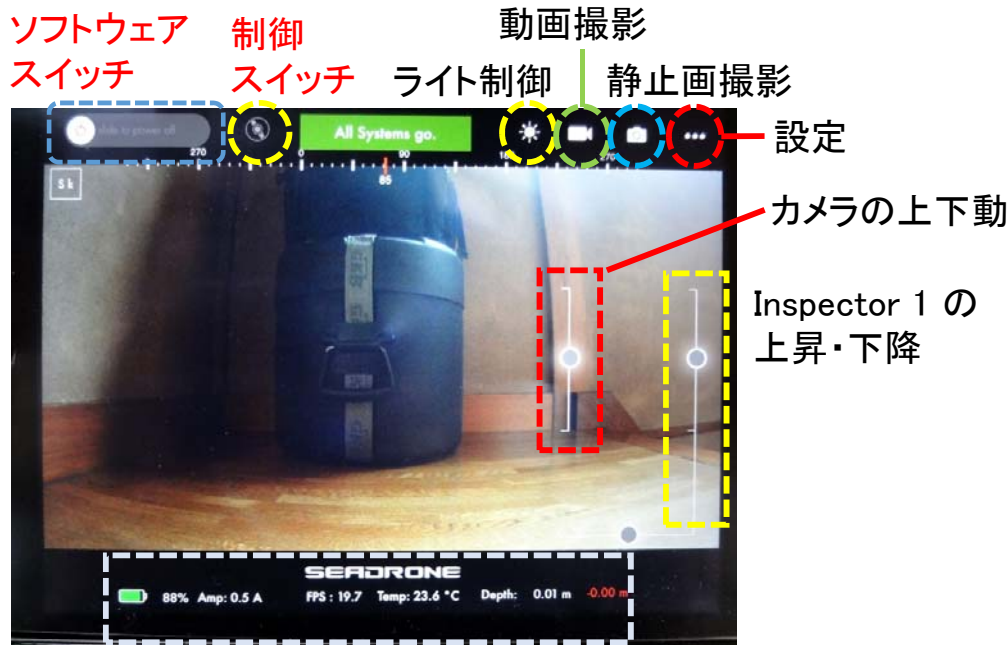
1. バッテリー残量に注意して運転して下さい。
2. 日光が当たっている等が原因で、iPadが熱くなる場合があります。高温になると強制終了します。注意して下さい。
3. 岩や岸壁、海(湖)底に衝突させないでください。危険を感じた場合、指を放せばその場で停止します。
4. Inspector 1 のケーブルは沈みます。海(湖)底に引っかかる場合があります。無理に引っ張らないで下さい。その場合、経路を逆走すれば外れます。

6. Inspector 1 の回収と管理

6-1. 回収について



Inspector 1 を回収地点まで移動させて下さい。



各種パラメーター、左から
バッテリー残量、フレームレート、水温、深度

1. 制御スイッチをタップしてUFFにして下さい。
2. ソフトウェアスイッチを右にスワイプしてOFFにして下さい。
3. 投入時と同様、ケーブルの黒い部分を持って回収して下さい。

6-1. 管理について

1. 使用後、ケーブルリール内のバッテリーの接続を解除して下さい。
2. 清水で洗浄後、水分をふき取って下さい。この時、ケーブル差込口に水が絶対に入らないように注意して下さい。ケーブルは繋いだままでも構いません。
3. カメラカバーが傷つかないように注意して下さい。
4. ケーブルを外し、本体が乾燥後、ケースに保管して下さい。

7. Inspector 1 の返却

1. 撮影した動画、静止画は、全て“写真”に保管されています。こちらからレンタルした場合、**忘れずにコピーして下さい。**
2. 入れ忘れが無いか、確認してから返送して下さい。
3. 貸出期限に十分に注意して下さい。
4. 未使用の配送伝票はそのまま返送して下さい。
5. 何か不具合があった場合、申告して下さい。修理について相談させていただきます。
6. こちらに届いた後、検品、検査を行います。未申告の不具合・損傷があった場合、修理費を全額負担させていただきます。

配送伝票には配送先が記載されています。ご利用下さい。紛失時にはメールまたは電話に似連絡を頂ければ、配送先をお伝えします。